

私たちは「よりよい学童クラブ」を目指して活動しています

連協ニュース

西東京市学童クラブ連絡協議会

2006/No.

9

ブログのURL <http://blog.goo.ne.jp/renkyo1925/>

CONTENTS

三多摩フォーラム報告	1
定例委員会報告	2
運営基準検討委員会 報告フォーラムに参加して	3
情報コーナー	
三多摩連協ニュース	
事務局だより	4

三多摩学童保育フォーラム大成功！

◆過去最高の参加者 471名！ 西東京市から76名参加！

2月18日（日）、亜細亜大学で第19回三多摩学童保育フォーラムが開催されました。当日は雨の中471名の参加があり、過去最高を記録した去年の参加者数343名を大きく更新しました。

西東京市でも他市開催では過去最高の76名の参加者がありました。参加された皆様ありがとうございました。

◆武蔵野市長が挨拶！



午前中は全体会が行われました。

昨年引き続き行われたオープニングセレモニーでは、武蔵野市の学童保育の1年間を紹介した指導員と子ども達の寸劇があり大好評でした。

なんと武蔵野市長の挨拶もありびっくり！武蔵野市長は武蔵野連協の副会長を務めたこともあり、学童の大切さを話していただきました。



◆笑、笑・・・そして涙の全体講演

全体講演は、朝霞市の小学校教諭の増田修治先生。増田先生はユーモア詩を取り入れた独特の授業を行っていることで有名です。当日は20ページにも及ぶ子どもたちのユーモア詩をもとに授業さながらの笑い感動に包まれた講演でした。すてきなお話に涙を浮かべている参加者もありました。アンケートも「こんな先生に教えてもらいたい」「感動した」「とても面白かった」など、どれも絶賛！ぜひ西東京市でも講演をお願いしたいと思いました。

◆午後は13の分科会

午後からは13の分科会に分かれて、様々なことを学び交流しました。どの分科会も熱のこもった話し合いが行われました。

「どうする、どうなる学童保育」では「放課後子どもプラン」などの話がされ、教室一杯の参加者がありました。毎年好評の「作って遊ぼう」は子どもも含めて90名以上の参加者があり、親子で楽しい時間を過ごしていました。

雨の中での道案内、会場係りなどをしていただいた武蔵野市連協や三多摩連協の皆様、ありがとうございました。

◆次は全国学童保育研究集会に参加しましょう！

さあ次は全国学童保育研究集会です。今日の感動が再び蘇ります。皆さんぜひご参加ください。

（事務局員 三多摩連協事務局次長 菊池）



A-2 教室が満員の「どうなる、どうなる学童保育」

定例委員会報告

2月17日（土）に田無総合福祉センターにて第8回定例委員会が開催されました。主な内容は以下の通りです。

★学童クラブ運営基準検討委員会立ち上げについて

学童クラブ運営基準の必要性、また今後委員会で検討していきたい項目について説明しました。

★学童クラブ委託化の進捗状況についての報告

西東京市学童クラブ事業運營業務委託事業者選定委員会が2月14日に開催され、契約書と仕様書の内容を検討したこと、またNPO法人子どもアミーゴ西東京の職員が北原学童クラブにおいて2月1日から引き継ぎに入っていることを報告しました。

★三多摩学童保育フォーラムの開催について

2月18日（日）に開催される三多摩学童保育フォーラムについて、見どころと参加方法を紹介しました。

★学童クラブ利用者アンケートの回収

学童クラブ利用者アンケートと西東京市学童クラブ基礎調査票を回収しました。ご協力ありがとうございました。

★2007年度活動方針（案）について

2007年度活動方針（案）を紹介し、内容の確認とご意見やご要望があれば次回の定例委員会で報告してほしい旨をお伝えしました。

★「各父母会からの活動報告」の作成について

総会議案書に掲載する「各父母会からの活動報告」の作成を各父母会にお願いしました。

★「日本の学童ほいく」誌を購読しませんか！

2月号の見どころを紹介しました。

★スケートのご案内

子どもげきじょう西東京主催のスケートが2月25日（日）に開催されることをお知らせしました。

★フリーディスカッション

参加者を地域別に4グループに分け、父母会、学童クラブの状況、連協に対する要望等について自由に意見交換をしました。大勢の方々から様々な意見や疑問が出て、よい交流の場となりました。

「わかりやすい定例委員会」を目指し、いくつかの取り組みを行いました。例えばプロジェクターを活用し、行事の写真やスライドを用いて、言葉だけでなく視覚からも理解できるように工夫してみました。また第8回では初めて茶話会形式で懇談会を開催しました。これはリラックスした雰囲気でお互いに意見交換ができる場を設定したいという意図からです。一方、ご意見として用語がわかりにくい、また毎回父母会からの参加者が変わるので話の経緯がわからない等をいただきました。私もつい早口になったり、また説明がわかりにくかったことがあったことを反省しています。定例委員会は、各学童クラブの活動状況や問題点、行政の動き、連協の活動等について情報を交換し合い、話し合う場です。「今日はきてよかった」と感じる定例委員会を目指して、今後もわかりやすい説明、理解や交流が深まるような工夫をしていきたいと思っておりますので、皆様のご意見やご提案をよろしく願います。（会長 永井）



座談会形式で行われた2月の定例委員会



第1回運営基準検討委員会報告

3月2日（金）に田無公民館会議室で第1回運営基準検討委員会が開催され、今後の進め方などについて話し合いが行われました。今回の結論として、①市が作成したガイドラインをたたき台に保護者の視点を盛り込んだ独自の運営基準をつくること（あわせて保育指針の検討も視野に入れる）、②保護者が市のアドバイスを受け運営基準を作成するという立場に立ち、今後は検討委員会の内容について児童課と情報を共有しながら進めること、の二点が確認されました。

【運営基準と保育指針】

冒頭、先般開催された三多摩学童保育フォーラムで運営基準に関する分科会に参加した出席者から、当日の内容が紹介されました。その中では、運営基準の具体的な内容を検討するにあたっては、まず「どのような子供を育てたいか?」「学童保育のあり方はどうあるべきか?」についての「指針」（理念）の必要性が強調されており、どのような子供を育てようとするかによって、子供に何をどこまで指導するか（何をさせるか）が決まり、必要な施設・設備・運営のあり方も決まってくるという考え方が紹介されていました。また、指導員は親の役割の昼の部分を担当する「昼の親」であり、「夜の親」（保護者）との連携が大切であるというお話もありました。

続く意見交換でも、保育指針は指導員のための手引きのように聞こえるが、実際には、学童保育のあり方を考える基本となるなどの保育指針の必要性を指摘する意見が多く出されました。

【市との協働でよりよい運営基準を】

市が昨年7月に発表したガイドラインについては、現状の施策をよく反映している一方、根拠となる指針が明確でないとの指摘がありました。この点については、機会を設けて市の担当者から直接話を聞く場を設けたいという意見が大勢でした。そして、今後の進め方としては、市が作成したガイドラインをたたき台に、保護者の視点を盛り込んだ独自の運営基準をつくること、その過程で保育指針の策定も検討するということになりました。また、最終的にできあがる運営基準については、学童クラブに新しく子どもを預ける親が読んで学童クラブとはどういうものかがわかるガイドブックのようなものがよいのではという意見も出されました。こうした点についても今後検討して行きたいと思います。

なお、今回の検討委員会に先立ち、連協から児童課に検討委員会の開催について説明し、保護者が市のアドバイスを受け運営基準を作成するという考え方にご理解をいただきました。今後は検討委員会の内容について児童課と情報を共有しながら進めることを検討しています。

（事務局・運営基準検討委員会 田中）

三多摩フォーラムに参加して

三多摩フォーラムに参加した方の感想です。

すごくよかった！笑いの後に、涙、涙、涙。とても素敵な話をありがとうございました。

増田先生の講演内容はもちろん、話の上手さにとてもひきつけられました。あっという間の時間でしたが、心の中が温かくなった気がします。ありがとうございました。

たのしい話でした。また子どもの関わり方などもとてもわかりやすかったです。

増田先生の講演は大変ひきつけられました。朝からの雨で大変でしたが、参加して良かったです。武蔵野市の皆さんありがとうございました。

初めての参加でしたが、他のクラブの様子などしることが出来て良かったです。来年は、他に人も参加できるようにすすめていきたい。

増田先生の詩（子どもたちの）がとてもおもしろかったです！！子どもの担任の先生があんな先生だったらいいな—と思いました。

増田先生の「辛い時は辛いと言っていい。」という言葉が心に残りました。毎日家で疲れた疲れたと言っている自分に、こんなことを言っているのはダメだ（良くない）と思っていたので、心の中を外に出しても良いのかなと思えるようになりました。楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。



情報コーナー

■2007年度 定期総会資料の配布

以下の通りに2007年度定期総会の資料を配布します。担当の方は時間内に必ず取りにきてください。

【日時】 5月12日(土) 10:00~12:00

【会場】 田無イングビル 第1・2会議室

■2007年度 定期総会のお知らせ

2007年度の定期総会を下記の通り行います。各父母会の代表(代議員)の方のご出席をお願いします。なお、代議員は4/1現在の児童数によって決められますので、よろしくをお願いします。(出来れば会長の出席をお願いします。)

日時:5月19日(土)19:00~

場所:田無総合福祉センター 視聴覚室(予定) 変更の場合は連絡いたします。

代議員数:第8条の5 代議員は、各学童クラブ父母会より、児童数15名につき1名選出します。
15名以内 1名 16~30名 2名 31~45名 3名 46~60名 4名 61~75名 5名
76~90名 6名 91~105名 7名

三多摩連協ニュース

◆第42回全国研究集会・第1回実行委員会を開催!

3月11日(日)新宿農協会館に、多摩地域と23区から約30名ずつ、合計約60名の方々が集まり、東京で15年ぶりに開催される全国研究集会の成功に向けて、熱のこもった意見の交換をしました。

・三多摩連協から1500名の参加者を!

東京からの参加者を3000名にしようという提案があり、了承されました。三多摩連協は1500名の参加者を目標にしています。皆様のご協力をお願いします。

◆「日本の学童ほいく」の定期購読を!

「日本の学童ほいく」は日本でただひとつの学童ほいくの専門誌です。保育の専門家の方たちの貴重な記事も読むことができます。ぜひ定期購読をお願いします。

購読料:3960円(年間) 只今新年度の申込受付中です。

ご希望の方には4月号を差し上げています。下記事務局までお申込ください。

お申し込み <http://www.renkyo.net/> FAX 042-467-1883

(住所等連絡先をお知らせください。)

事務局ニュース

◆今年「わかりやすい連協を!」をモットーに1年間活動してきました。定例委員会でも、いままでにない工夫をしましたがいかがだったでしょうか?1年間ご協力ありがとうございました。来年度もよろしくをお願いします。

(事務局一同)

◆1年は早いもので、今年度もこの号でお終いです。毎年「読みやすい連協ニュースを」と思っていたのですが、いろいろとご報告をと思うと、文字ばかりになってしまいました。来年度は「また読みたい」と思ってもらえるようにさらにがんばっていきますので、よろしくをお願いします。(菊池)

発行:西東京市学童クラブ連絡協議会

住所:西東京市柳沢2-8-10-108

発行者:永井 昌史(会長)

発行日:2007年3月17日

編集:菊池 宇光 他

メール:info@renkyo.net

メーリングリストもあります。下記ホームページから申し込んでください。

<http://renkyo.net>